



橋 戸

令和3年10月28日

学校だより 第7号

練馬区立橋戸小学校

校長 青木 俊哉

“幕”を開けよう！

校長 青木 俊哉

緊急事態宣言の解除からそろそろひと月になります。幸い東京都では新規感染者数の減少傾向が続いており、全国的にも感染状況は落ち着きを見せています。練馬区でも、様々な教育活動実施の基準が、4月に示された「ガイドライン(第3版)」に基づく対応に戻され、少しずつできることが増えてきましたが、リバウンド感染や第六波につながることはないよう、学校では引き続き感染予防に努め、“今、すべきこと”“今、できること”に全力で取り組んでいきます。

さて、このような情勢の下、音楽会と体育学習発表会という大きな学校行事の実施を迎えます。“観客を入れて”の実施にこだわり、実施時期や運営方法について検討を重ね、ようやく当日が見えてきたところです。それぞれの行事に懸ける思いや当日を迎えるまでの経緯など、限られた字数ではありますが、その一端を紹介します。

音楽会…本来昨年度の2学期に実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止せざるを得なくなった行事です。そもそも音楽科の指導自体が様々な制約の下難しくなりました。飛沫拡散を防ぐため、歌唱指導のできない時期が続きました。「心の中で歌いましょう。」と声をかけたこともありますし、歌えた時期でも、マスク越しに小聲で…が精一杯でした。全校合唱などいつから聞いていないだろうと思う程です。また、息を吹き込む楽器、鍵盤ハーモニカやリコーダーの指導にも同様の制限があり、打楽器や鍵盤楽器だけの演奏にしたり、鑑賞や音づくりを中心に指導時期を入れ換えたりしながらの一年でした。今年度も、先月迄のほとんどの期間が宣言中、引き続き厳しい制限・制約下での指導となり、果たして音楽会は実施できるのか…ぎりぎりの判断となる中、何とか漕ぎつけたところです。このような事情もあり、今回は歌をお聞かせすることはできません。学習の成果として披露する“貴重な1曲”の合奏を楽しみに、足をお運びください。保護者鑑賞日は明後日の土曜日、ご来校をお待ちしております。

体育学習発表会…運動会という名称には、かつての賑やかに実施できた頃のイメージが残ってしまうこともあり、昨年度よりタイトルを変えて実施しています。昨年来、音楽科同様に体育科の指導にも厳しい制限や制約がありました。当初は、共用物品を使うたびに消毒が求められた時期もありますし、身体接触や児童間の適切な距離の確保にも気を配りながらの指導でした。徐々に制限は緩和され、運動時のマスク着用も以前程厳しくは求められなくなりましたが、子供も大人もどこか“やりづらさ”を感じながらの学習が続きました。年度当初の計画では、5月末の実施予定でしたので、表現種目の準備や練習は進めていましたが、結局は宣言の継続により実施を見合せました。2学期に入り、子供たちが一旦身に付けたものを思い出すために少しずつ練習を始め、同時に感染状況を見極め、実施期日の確定に至り、昨年の実施を土台に準備を進めています。今年も短距離走に順位は付けません。開・閉会式や応援合戦、高学年児童の係活動なども引き続き実施できませんが、今年は「高学年リレー」が復活します！全児童の短距離走に加え、高学年選手による力強い走りにもご注目願います。一生懸命走る姿と楽しく表現する子供たちを見にいらしてください。

来年こそは、普通に、これまで通りの学校行事が実施できることを、祈り、願って、今年の“幕”を開けましょう！